

自動化の需要に伴い拡大し続ける「協働ロボット市場」

近年、製造業では、少子高齢化や働き手の減少により人手不足が深刻化しています。特に単純作業や繰り返し作業の現場では、人材確保の難しさが生産性の低下や品質のバラつきといった課題につながっています。そのため、各企業は持続的な生産体制の構築を今、求められています。こうした背景から、現場で人と協働しながら柔軟に作業を自動化できる「協働ロボット」への期待が急速に高まっています。協働ロボットは省力化や生産性向上の手段として幅広い業界で導入が進んでいます。本ウェビナでは「DOBOT」の製品や実際の活用例をご紹介します、皆様の課題を解決できるヒントをお届けいたします。

自動化に対する製造現場での課題

最近、協働ロボットを使った**作業工程の自動化を検討する企業が急増**しています。しかし、日本の製造業には、導入したくてもできない**“構造的な課題”**を抱えるケースが多くあります。“構造的な課題”とは、初期コスト、ロボットを操作できる人材の不足、ライン変更の難しさなどです。これらの課題をクリアする手段の一つとして、現在、協働ロボットへの注目と需要が高まっています。

DOBOTの特徴とラインナップ

DOBOT は直感的な操作性と高い安全性、そして導入の手軽さを特徴とする協働ロボットメーカーで、教育から産業用途まで幅広い現場に対応しています。製品ラインナップとしては産業向けの**CRAシリーズ**（3～20kg）、重可搬の**CR30H**、省スペース用の**MG400**、小売・サービス向けの**Novaシリーズ**、教育用途の**Magician E6**など多彩です。用途に合わせて最適なロボットを選べるのが強みです。

誰でも扱える直感的な操作性

DOBOT の協働ロボットは、専門知識がなくても**直感的に操作できる**点が特長です。ドラッグ＆ドロップによるビジュアルプログラミングや、実機を動かして軌道を覚えさせる**ティーチング機能**に対応しています。初心者でも短時間でロボットを動かせるため、現場担当者が自ら自動化を進めることが可能となり、導入・運用のハードルを大きく下げることができます。

採用事例

- ・自動車部品吸盤の積み込み/積み下ろし（CR10A）
- ・ねじ締め（CR16A）
- ・化粧品OEM（Nova2S）

■ 本日の登壇者 ■



Dobot Japan 株式会社
Channel Manager
云中雁 氏



DOBOTの製品ラインナップ
出所：投影資料より一部抜粋



ブロックプログラミングによる直感的な操作
出所：投影資料より一部抜粋

[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジニアよりそうマガジンサイト